

# 令和4年度 武生東高等学校スクールプラン

<b>業務改善のための取組</b>	<b>人権教育の推進</b>
・校務分掌再編2年目にあたり、業務内容をゼロベースで見直し、効率化・適正化を図りながら、教育活動を持続可能なものにする。	・総合的探究・国際交流の時間をはじめとする様々な教育活動を通じて、他者への思いやりの心を育む。

<b>【重点目標①】 教育課程・学習支援</b>	<b>【重点目標②】 進路支援</b>	<b>【重点目標③】 生徒支援</b>	<b>【重点目標④】 グローバル・サイエンス・SDGs</b>	<b>【重点目標⑤】 外部との連携</b>
・新教育課程の実施とともに、新しい学習評価を通して、授業力の向上と生徒理解を深める。	・基礎的汎用的能力※を高めていくための、主体的・探究的な姿勢を育成する。  ※「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」	・生徒会活動や学校行事、部活動等への主体的参加を促進する。 ・心身の健康や安全に関する自己管理能力を高め、社会で生き抜く力を育成する。	・探究活動や国際交流、学際的な学びを通して、社会の課題を多方面から分析し、持続可能な社会の実現へ向けた意識を育成する。	・教育活動の積極的発信を通して、地域や保護者との連携を促進する。 ・世代を超えた学び合いや研究機関との連携を促進する中で、学ぶ喜びの醸成に努める。



<b>【具体的取組と目標】</b>	<b>【具体的取組と目標】</b>	<b>【具体的取組と目標】</b>	<b>【具体的取組と目標】</b>	<b>【具体的取組と目標】</b>
<p>a:「タブレット活用で情報収集・発信するとともに主体的なポートフォリオの蓄積に取り組む。」</p> <p>目標:授業等での積極的なタブレットの活用(80%以上) 学びの履歴を蓄積した、自主的学習への活用(75%以上)</p> <p>b:「教科連携による授業プログラムを実践する。」</p> <p>目標:教科連携によるプログラムの実践(10プラン)</p>	<p>a:「目標とすべき将来の生き方・進路を考えて進路計画を立てるとともに、その実現に向けた取組を進める。」</p> <p>目標:目標が明確になった生徒(80%以上)</p> <p>b:「自己の適性を理解し、興味関心ある分野の探究を深める意識を醸成する。」</p> <p>目標:自己理解ができる認識をもつ生徒(80%以上)</p>	<p>a:「生徒自らが、校則を含めた現状の問題点を見だし、仲間と協働して、学校生活の向上を目指す。」</p> <p>目標:生徒会主導のもと、向上を目指している。(70%以上)</p> <p>b:「LHや行事等を通し、自助共助の意識を教員・生徒共に高める。」</p> <p>目標:年度初めに比べ、自助共助の意識の高まりを感じる。(80%以上)</p>	<p>a:「SDGsの17目標と169ターゲットを調べ、自分の探究活動の中にSDGsの視点も取り入れる。」</p> <p>目標:自分の探究活動が、SDGs17目標のどの目標に関係しているか把握できる生徒(80%以上)</p> <p>b:「英語セミナー・WHF等の学校行事を通して、異文化交流活動を推進する。また、授業やフロンティアタイム等において理数への興味をもち、探究活動を推進する。」</p> <p>目標:参加者満足度(80%以上)</p>	<p>a:「年間の各種教育活動内容が伝わるようなわかりやすいHPでの情報発信に努める。」</p> <p>目標:HP更新回数(100回)</p> <p>b:「Hino・Quest(総合的探究)において世代を超えた交流の場を増加する。」</p> <p>目標:大学教員などから助言・支援をうけ、探究的な学習・進路学習などに活かすことができた(70%以上)</p>